

# CE250A

## 日本語版ユーザーマニュアル



### 本ドキュメントについて

本書はATENジャパン株式会社において、CE250A 取り扱いの便宜を図るため、英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く改変されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術部

TEL :03-5615-5811

MAIL :support@atenjapan.jp

2014年10月9日

## ユーザーの皆様へ

---

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く改変されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

## ATEN ジャパン製品保証規定

---

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応となりますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 購入日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障または破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

### 【製品保証手順】

弊社の製品保証規定に従いユーザーが保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

#### (1) 不具合の確認

製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口にご連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

#### (2) 本規定に基づく製品保証のご依頼

(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『お客様の製品購入日が証明できる書類』を用意して、購入した販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

#### (3) 製品の発送

不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

## 【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品／液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～3年間	無償修理
	3年以上	有償修理※2
②液晶ディスプレイ搭載製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～2年間	無償修理
	2年以上	有償修理※2

※1…製品購入日から30日以内に確認された不具合は初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途製品を購入された販売店までお問い合わせください。

※ケーブル類、その他レールキット等のアクセサリ類は初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL(生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。またEOL製品の修理に関して、上記無償修理期間中であっても、部材調達の都合等により修理不可になる可能性がございます。そのような場合には、機能同等品による良品交換のご対応となる可能性がございます。

## 【補足】

・本規定はATEN製品に限り適用します。

・ケーブル類は初期不良対応に準じます。

・初期不良による新品交換の場合は、ATENより発送した代替品の到着後、5営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。返却の予定期日が守られない場合は弊社から督促を行いますが、それにも関わらず不具合品が返却されない場合は、代替機相当金を販売代理店経由でご請求いたします。

・ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、すべて有償修理とさせていただきます。

## 【免責事項】

1. 弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を、必ずしも満たすものではございません。
2. キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。
3. 他社製品の KVM スイッチ、キーボード・マウスコンバーター、キーボード・マウスエミュレーター、KVM エクステンダー等との組み合わせはサポート対象外となりますが、お客様で自己検証の上であれば、使用を制限するものではありません。
4. 製品に対しての保証は、日本国内で使用されている場合のみ対象とさせていただきます。
5. 製品やサービスについてご不明な点がある場合は、弊社技術部門までお問い合わせください。

## 製品についてのお問い合わせ

---

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業部 TEL:03-5615-5810 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術部 TEL :03-5615-5811 MAIL :support@atenjapan.jp

# 目次

---

RoHS.....	8
SJ/T 11364-2006 .....	9
安全にお使い頂くために .....	10
ラックマウント.....	12
本マニュアルについて.....	14
マニュアル表記について .....	15
<b>第1章 はじめに</b> .....	16
製品概要.....	16
特長.....	17
必要システム構成.....	18
コンソール.....	18
コンピューター .....	18
ケーブル.....	18
対応オペレーティングシステム.....	19
対応オペレーティングシステム言語 .....	19
製品各部名称 .....	20
CE250AL(ローカルユニット)フロントパネル .....	20
CE250AR(リモートユニット)フロントパネル .....	21
CE250AL/CE250AR リアパネル .....	22
<b>第2章 ハードウェアセットアップ</b> .....	23
セットアップの前に.....	23
ラック等への取り付け .....	23
ケーブルおよびデバイスの接続 .....	25
製品の接地 .....	25
デバイスの接続.....	27
<b>第3章 操作方法</b> .....	29
操作モード .....	29
モード選択 .....	29
LED ランプの表示について .....	30
CE250AL(ローカルユニット).....	30
CE250AR(リモートユニット) .....	30
<b>付録</b> .....	31
製品仕様.....	31
TP 結線図およびピンアサイン .....	33
.....	33
トラブルシューティング .....	33

## EMC 情報

---

### FCC(連邦通信委員会)電波干渉声明

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則のPart15に準拠したデジタル装置 Class A の制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、商業目的の使用において、有害な障害が発生しないよう、基準に沿った保護を提供する為のものです。

この操作マニュアルに従わずに使用した場合、本製品から発生するラジオ周波数により、他の通信機器に影響を与える可能性があります。

また、本製品を一般住宅地域で使用した場合、有害な電波障害を引き起こす可能性もあります。その際には、ユーザーご自身の負担で、その障害を取り除いてください。

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則のPart15のデジタル装置 Class A の規定に準拠しています。動作は次の2つの条件を前提としています。(1)本製品による有害な干渉を発生しない。(2)本製品は、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉を全て受け入れる。

**FCC による注意:**本コンプライアンスに対する責任者による明確な承認を得ていない変更または改良を行った場合は、ユーザーの本装置を操作する権利を無効とします。

**CE による注意:**本製品は Class A に準拠した製品です。本製品をご家庭で使用した場合、電波干渉を引き起こす可能性があります。その際は、ユーザーご自身にて、適切な処置を行ってください。

**提案:**FCC および CE 規格を確実に順守するために、STP ケーブルを使用するようにしてください。

## RoHS

---

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。

The following contains information that relates to China.

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅	汞	镉	六价铬	多溴联苯	多溴二苯醚
电器部件	●	○	○	○	○	○
机构部件	○	○	○	○	○	○

- : 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T 11363-2006规定的限量要求之下。
- : 表示符合欧盟的豁免条款, 但该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。
- ×: 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。



## 安全にお使い頂くために

---

- ◆ 全般製品に同梱されるドキュメントは全てお読みください。またドキュメント類は全て保存してください。また、弊社 Web サイトに掲載のオンラインユーザーマニュアルもご確認ください。
- ◆ 製品に関する注意・説明に従って取り扱ってください。
- ◆ 落下による事故・製品の破損を防ぐため、設置場所は不安定な面(台車、簡易的なスタンドやテーブル等)を避けるようにしてください。
- ◆ 製品が水に濡れるおそれのあるような場所で使用しないでください。
- ◆ 製品は熱源の近く、またはその熱源の上などで使用しないでください。
- ◆ 製品のケースには必要に応じて通気口が設けられています。通気口のある製品は、安定した運用を行うため、また製品の過熱を防ぐために、開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
- ◆ 製品をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに製品が過熱する恐れがあります。
- ◆ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、乾いた雑巾でプラグ周りのホコリを掃除してください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。
- ◆ 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ お使いの装置への損傷を避けるためにも、すべての装置を適切に接地するようにしてください。
- ◆ 電源コンセントの形状が異なりプラグを接続できない場合には電気事業者に問い合わせる適切な処置してください。アース極を無理に使用できない状態にしないでください。使用される国/地域の電源形状に従ってください。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。人が通行するような場所避けて電源コードを設置してください。
- ◆ 電源の延長コードや電源タップを使用する場合は、合計容量とコードまたはタップの仕様が適合していることを確認してください。電源コンセントにつながれている製品全ての合計アンペア数は 15 アンペアを超えないようにしてください。
- ◆ 突然の供給電力不安定や電力過剰・電力不足からお使いのシステムを守るために、サージサプレッサー、ラインコンディショナー、または無停電電源装置(UPS)をご使用ください。
- ◆ システムケーブルや電源ケーブルは丁寧に取り扱いってください。また、これらのケーブル類の上には何も置かないようにしてください。

- ◆ 危険な電圧ポイントへの接触やショートによって、発火したり感電したりするおそれがありますので、キャビネットのスロットには何も挿入しないでください。
- ◆ 装置をご自身で修理せず、ご不明な点がございましたら技術サポートまでご相談ください。
- ◆ 下記の現象が発生した場合、コンセントをはずして技術サポートに修理を依頼してください。
  - 電源コードが破損した。
  - 装置の上に液体をこぼした。
  - 装置が雨や水にぬれた。
  - 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。
  - 装置の動作に異変が見られる。(修理が必要です)
  - 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 技術サポートの修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。

## ラックマウント

- ◆ ラックでの作業を始める前に、スタビライザーがラックに固定され床に接していること、また、ラック全体が安定した場所に置かれていることを確認してください。作業する前に、シングルラックにフロントとサイドのスタビライザーを取り付けるか、結合された複数のラックにフロントスタビライザーを取り付けてください。
- ◆ ラックには下から上に向かって、一番重いアイテムから順番に取り付けてください。
- ◆ デバイスを拡張する前にラックが水平で安定していることを確認してください。
- ◆ ラックに供給する AC 電源の分岐回路が過剰供給にならないようご注意ください。ラック全体の電源負荷は分岐回路の 80%を越えないように設定する必要があります。
- ◆ ラックにマウントされたデバイスは、電源タップも含め、すべて正しく接地されていることを確認してください。
- ◆ ラックへの通気を十分に確保してください。
- ◆ 本製品で定められている保管温度を超えないように、ラックが設置されている場所の室温を調節してください。
- ◆ ラックに設置されているデバイスが動作している際に、デバイスを踏んだりデバイスによじ登ったりしないでください。

## 同梱品

---

CE250A 製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

- ◆ CE250AL KVM エクステンダー ローカルユニット ×1
- ◆ CE250AR KVM エクステンダー リモートユニット ×1
- ◆ KVM ケーブル(1.8m) ×1
- ◆ 電源アダプター(リモートユニット用) ×1
- ◆ ラックマウントキット(ローカル/リモートセット) ×2
- ◆ 多言語版クイックスタートガイド ×1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用方法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

## 本マニュアルについて

---

このユーザーマニュアルは、CE250A に関する情報や使用法について説明しており、取り付け・セットアップ方法、操作方法のすべてを提供します。

マニュアル構成は下記のようになっています。

**第1章 はじめに:** CE250A について紹介します。特長および機能の概要および製品各部名称について説明しています。

**第2章 ハードウェアセットアップ:** CE250A ハードウェアセットアップについて説明しています。

**第3章 操作方法:** CE250A の基本的な操作について説明しています。

**付録** 製品の仕様および関連する技術情報や操作方法について説明しています。

## マニュアル表記について

---

[   ]                    入力するキーを示します。例えば[Enter]はエンターキーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl]+ [Alt]のように表記してあります。

1.                        番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。

◆                        ◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。

→                        矢印は操作の手順を示します。例えば Start → Run はスタートメニューを開き、Run を選択することを意味します。



重要な情報を示しています。

※本マニュアルに記載されている商品名・会社名等は、各社の商標ならびに登録商標です。

# 第1章 はじめに

## 製品概要

---

CE250A コンソールエクステンダーは、離れた場所にあるコンソール(キーボード、マウス、モニター)からコンピューターを操作できるようにする製品です。この製品は工場や建築現場など、コンピューター本体はホコリやチリ、汚れた環境の影響を受けない安全な場所に設置したいが、コンソールは近くのアクセスしやすいところに置く必要がある場合等に、最適なソリューションです。

CE250A エクステンダーは、オペレーションの利便性やセキュリティを向上させるためにも有効です。便利なアクセスが可能な位置にコンソールを置くことができると同時に、コンピューター本体は安全な場所に設置することができます。

ユニット同士の接続は、高価な専用ケーブルではなく、代わりに一般的な LAN ケーブル(カテゴリ 5 以上、8 芯ストレートケーブル)を使用しますので、ケーブルの取り回しの柔軟性も高く、延長システムの設置コストを下げることができます。

CE250A の特徴的な機能は、8kV ESD 保護および 2kV サージ保護があります。また高い信頼性と親和性を持つ ATEN 独自開発の ASIC を搭載しており、ユニット間の距離を自動検出し、適切な信号補正を行います。

セットアップは極めて簡単です:CE250A ローカルユニットにコンピューター本体およびローカルコンソールを接続します。それから LAN ケーブルでローカルユニットとリモートユニットを接続し(最大延長距離 150m)、リモートユニットにリモートで使用するコンソールを接続するだけで使用可能です。

---

**注意:** KVM スイッチを組み合わせることによって、離れた場所から複数のコンピューターを操作することも可能です。

---

## 特長

---

- ◆ カテゴリ 5 以上の LAN ケーブルを使用して延長—最大延長距離 150m
- ◆ デュアルコンソールオペレーション—ローカルユニット、リモートユニットでそれぞれ一組の PS/2 キーボード、PS/2 マウス、アナログモニターを接続可能
- ◆ ローカル・リモートコンソールの切替方法—プッシュボタン
- ◆ VGA 解像度—1,280×1,024@60Hz
- ◆ VGA・SVGA・マルチスキャンモニター対応—DDC、DDC2、DDC2B 準拠
- ◆ Microsoft Intellimouse および一般的なスクロールホイール付きマウスに対応
- ◆ ゲイン自動調節—延長距離を自動的に検出して、信号を最適に補正
- ◆ 8kV ESD 保護および 2kV サージ保護機能
- ◆ 高い信頼性と親和性を持つ ATEN 独自開発の ASIC 内蔵
- ◆ ローカルユニットの電源はコンピューターよりバスパワーにて供給されるため、電源アダプターはリモートユニットのみで接続 \*
- ◆ 同梱のブラケットによりラックマウント可能
- ◆ ワイド画面のフォーマットに対応\*\*

---

**注意:** \*KVM スイッチと併用する際など、ローカルユニットでも電源アダプターが必要になる場合があります。ローカルユニットで使用する電源アダプターの仕様は、リモートユニットと同じです。詳細は製品を購入した販売店までご連絡ください。

\*\* ワイド画面からの EDID データは、ローカル側のビデオ出力ポートから送出されます。ワイド画面用モードやワイド画面对応のディスプレイの場合には、モニターをローカル側のビデオ出力ポートに接続するか、ATEN の EDID エミュレーター (型番:2A-130G) をお使いください。

---

## 必要システム構成

---

### コンソール

- 接続されるコンピューターで出力可能な解像度に適した、VGA・SVGA・マルチスキャンモニター
- PS/2 キーボード
- PS/2 マウス

- 
- 注意:**
1. CE250A に接続されるコンピューターが起動時に DDC 通信を行って検出するモニターは、ローカルユニットに接続されたモニターです。DDC 対応モニターを使用する場合は、リモートユニットに接続するモニターが、ローカルユニットに接続する DDC 対応モニターより高い解像度を表示可能なものにしてください。
  2. ローカルユニット/リモートユニットで使用するマウスは、同一メーカー、同一機種を使用してください。
- 

### コンピューター

接続されるコンピューターは下記の環境を満たしている必要があります。

- ◆ VGA、SVGA、マルチシンク出力可能でミニ D-sub 15 ピンコネクタを持ったビデオ出力
- ◆ ミニ DIN 6 ピン PS/2 キーボード
- ◆ ミニ DIN 6 ピン PS/2 マウスポート

### ケーブル

- ◆ 規格外のケーブルを使用すると、接続した機器を破損することや、機器の性能を低下させることがあります。理想的な状態でデータ転送を行うため、またシステムのレイアウトを単純化させるためにも、製品対応 KVM ケーブルをご使用になることを推奨いたします。
- ◆ ローカル/リモートユニットを接続するために、必要な延長距離に応じたカテゴリ 5 以上の LAN ケーブル(ストレートケーブル)が必要です。

## 対応オペレーティングシステム

CE250A は、下記のオペレーティングシステムのコンピューターを接続可能です。

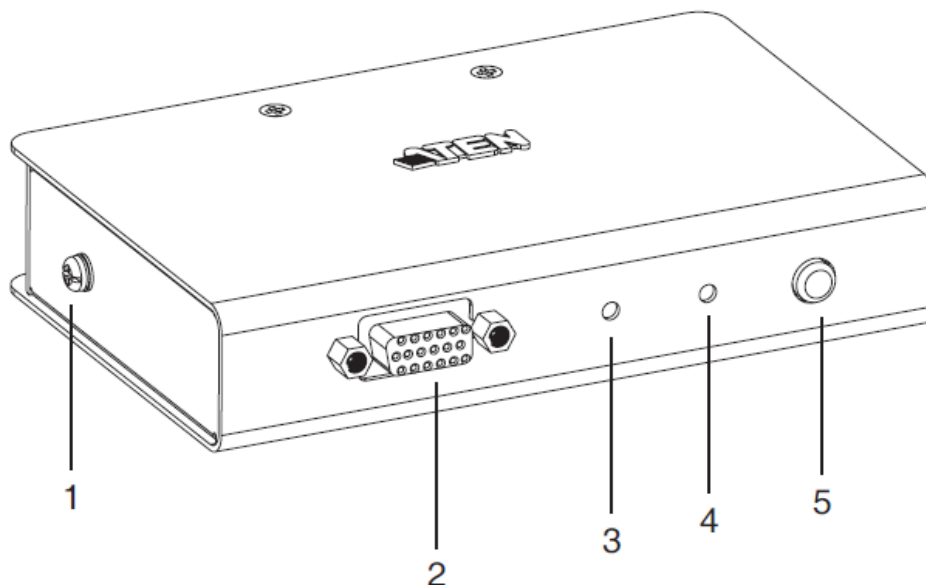
OS		バージョン
Windows		2000 以降
Linux	RedHat	7.1 以降
	SuSE	9.0 以降
	Mandriva (Mandrake)	9.0 以降
Unix	AIX	4.3、5L(5.2、5.3)
	FreeBSD	4.2、4.5
Novell	Netware	6.0 以降
OS/2		Warp 以降

## 対応オペレーティングシステム言語

- ◆ US 英語
- ◆ UK 英語
- ◆ フランス語
- ◆ ドイツ語
- ◆ 日本語
- ◆ 繁体字中国語

## 製品各部名称

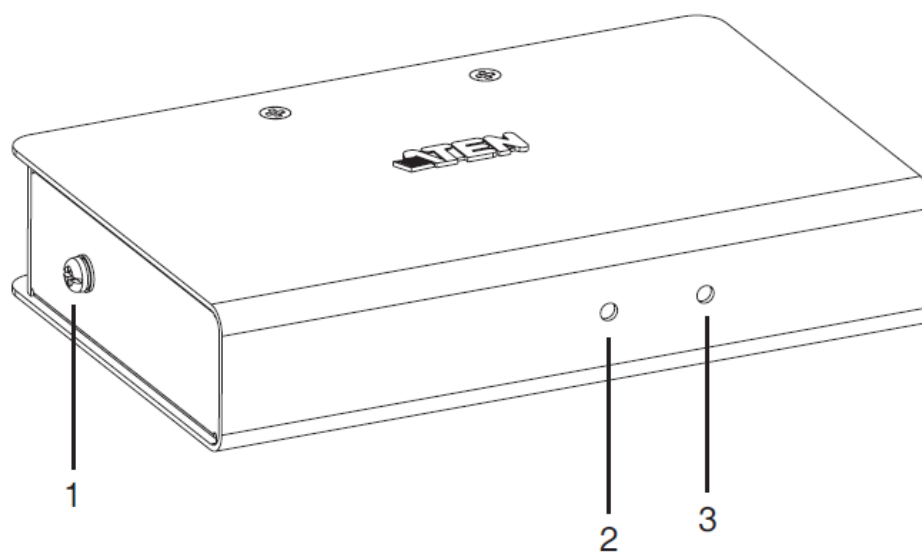
### CE250AL (ローカルユニット) フロントパネル



No.	名称	説明
1	グラウンドターミナル	グラウンドワイヤーを接続し、接地してください。
2	KVM ポート(黄色)	製品に同梱されている KVM ケーブルで、コンピューターとの接続に使用します。 このコネクタは専用に設計されていますので、対応する KVM ケーブル以外接続しないでください。
3	リモート LED	ローカルユニットには2つの LED があり、CE250A の操作モードを表示します。 LED 表示の内容については、p.30 をご参照ください。
4	ローカル LED	
5	操作モード切替ボタン	このプッシュボタンを押すと、操作モードを切り替えます。操作の詳細は p. 29 をご参照ください。

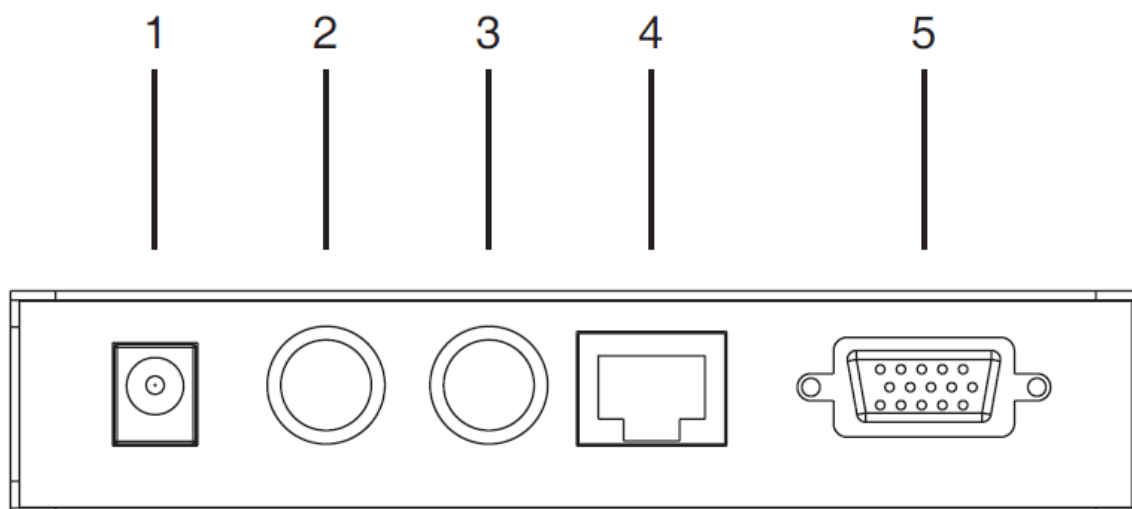
**注意:** CE250A と KVM スイッチを併用する場合には、CE250A ローカルユニットと KVM スイッチのコンソール側ポートを接続してください。

## CE250AR(リモートユニット)フロントパネル



No.	名称	説明
1	グラウンドターミナル	グラウンドワイヤーを接続し、接地してください。
2	オンライン LED	リモートユニットには2つの LED があり、CE250A の操作モードを表示します。 LED 表示の内容については、p.30 をご参照ください。
3	電源 LED	

## CE250AL/CE250AR リアパネル



No.	名称	説明
1	電源ジャック	同梱されている電源アダプターを接続してください。(リモートユニットのみ)※注意
2	マウスポート	コンソールとして使用する PS/2 マウスを接続してください。
3	キーボードポート	コンソールとして使用する PS/2 キーボードを接続してください。
4	リンクポート	RJ-45 コネクターです。ローカルユニット/リモートユニットを接続するカテゴリ 5 ケーブルのために使用します。
5	モニターポート	コンソールとして使用するアナログモニターを接続してください。

### 注意:

CE250A ローカルユニットはコンピューターからバスパワー供給を受ける電源仕様になっています。何らかの理由でコンピューターからのバスパワー不足が起きている場合や、CE250A ローカルユニットと KVM スイッチと併用する場合には、オプションの電源アダプターを接続してください。

ローカルユニットで使用する電源アダプターの仕様は、リモートユニットと同じです。詳細は製品を購入した販売店までご連絡ください。

## 第2章 ハードウェアセットアップ

### セットアップの前に

---



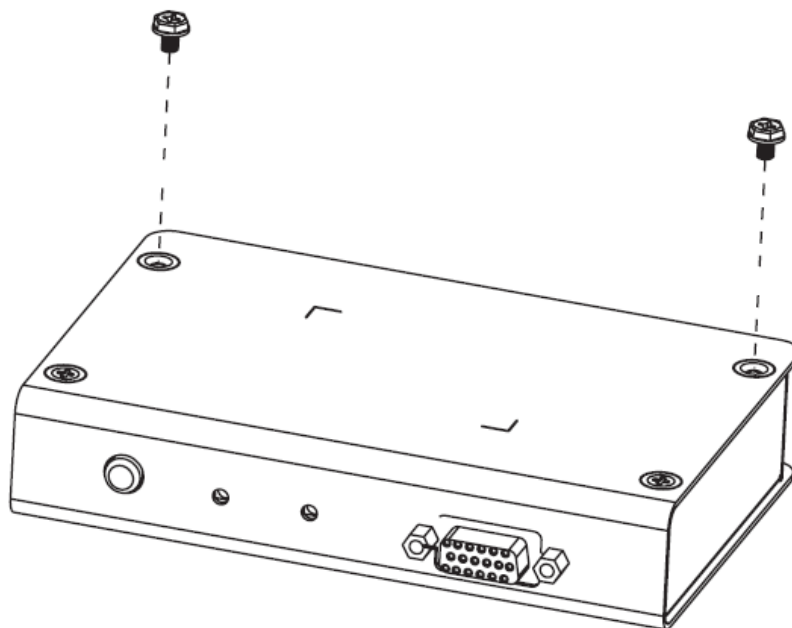
1. 機器の設置に際し重要な情報をp.10に記載しています。作業の前に、必ず目を通してください。
2. 今から接続する装置すべての電源がオフになっていることを確認してください。キーボード起動機能がついている場合は、コンピューターの電源ケーブルも抜いてください。

### ラック等への取り付け

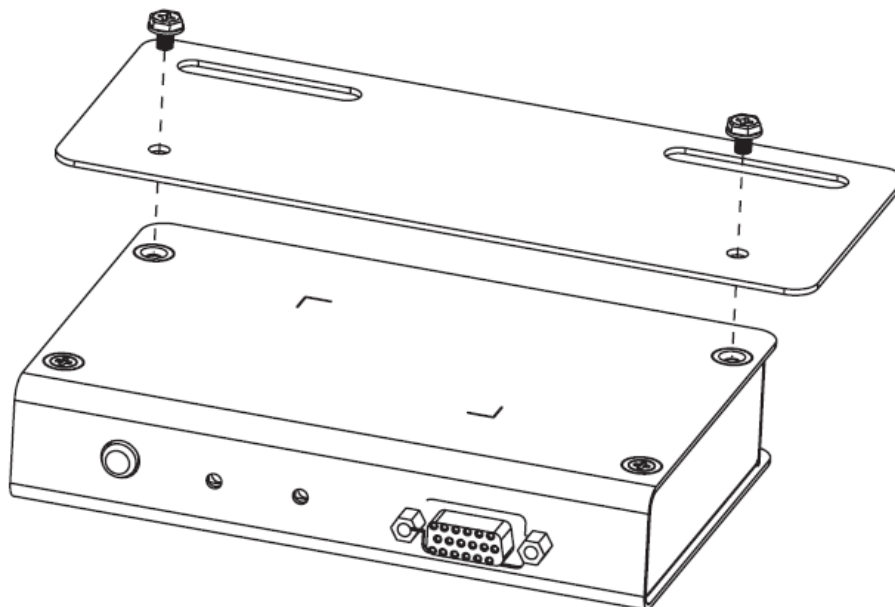
---

製品を設置後、固定して安全に使用できるように、CE250A は同梱のブラケットでシステムラック等への取り付けを行えるようになっています。取り付け作業は図を参考にして、下記の手順で行ってください。

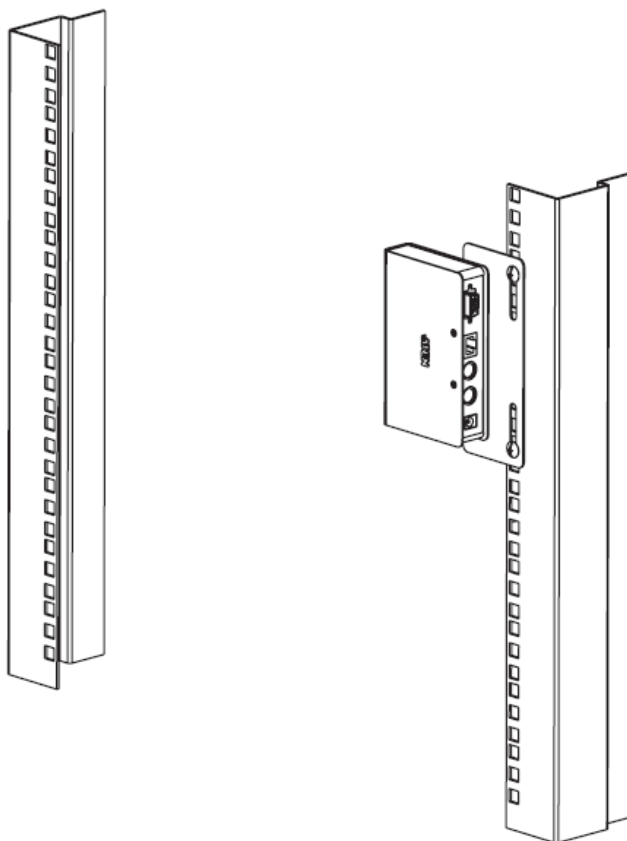
1. 製品底面にあるケース固定のためのネジを2個外してください。(製品フロント側、リア側どちらでも可)



2. 製品に同梱されているマウント用ブラケットを図のように取り付けてください。外したネジをそのまま使  
用します。



3. 任意の位置へ取り付けてください。図は、19 インチシステムラックに取り付けた例です。  
注意:ラックに取り付けるためのケージナットは製品に同梱されていません。

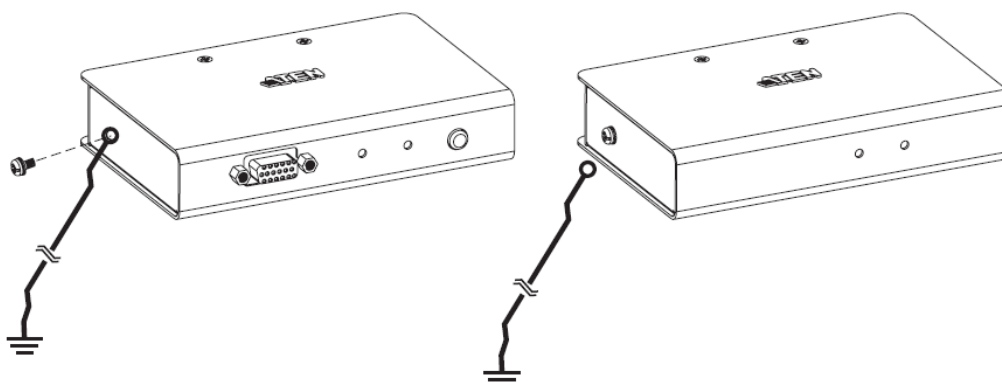


## ケーブルおよびデバイスの接続

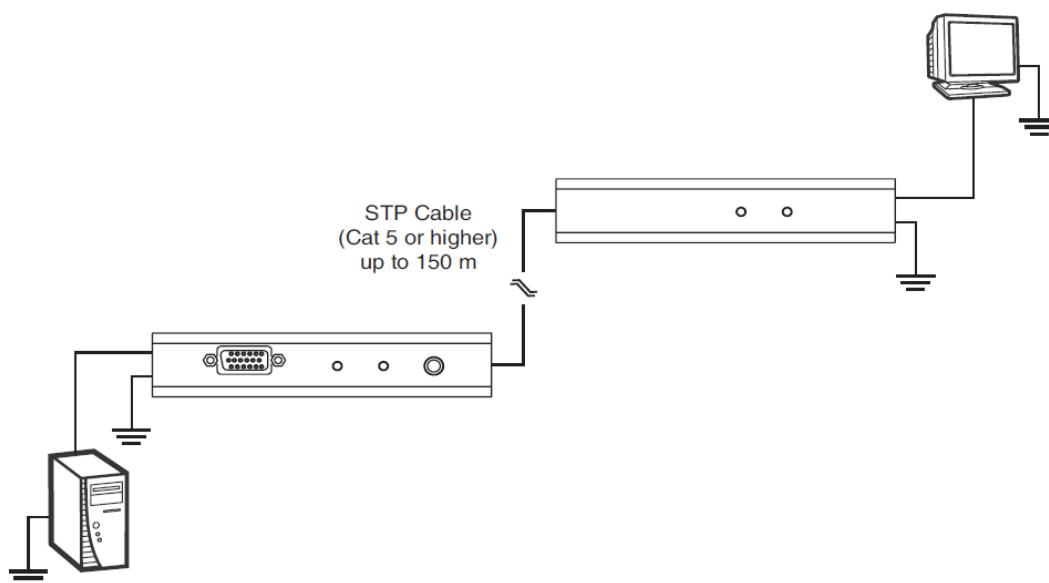
### 製品の接地

ケーブルを介して侵入するサージ等が原因の電氣的障害を避けるため、接続するデバイスは正しく接地してください。

1. グランドワイヤー（ローカル/リモートユニット分で計 2 本）を使用して、製品のグランドターミナルと、適切に施工された接地端子を接続してください。

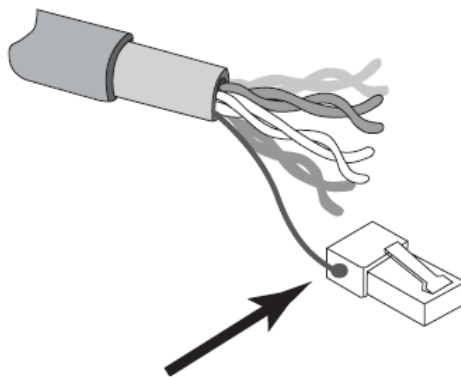


2. CE250AL ローカルユニットに接続されたコンピューター、CE250AL ローカルユニット、CE250AR リモートユニット、CE250AR リモートユニットに接続されたモニターを正しく接地する必要があります。

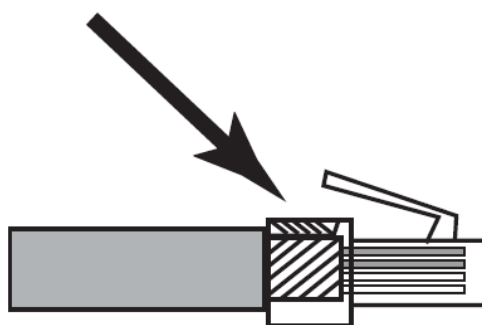


3. 接地の効果を有効にするために、CE250A ローカルユニット/リモートユニットを接続する LAN ケーブルは、STP (Shielded Twisted Pair、シールドド・ツイスト・ペア) ケーブルを使用されることを推奨します。

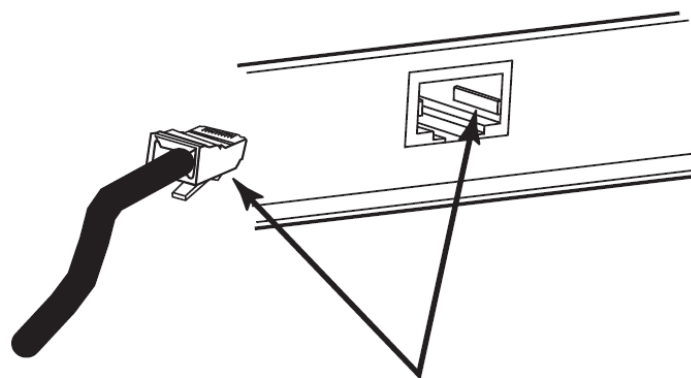
a) STP ケーブルは、信号の伝送に使用する 8 線以外にアース線を有しているタイプがあります。このタイプのアース線は、図のように RJ-45 コネクターに接続されています。



b) ケーブルシールドをアースとして使用しているタイプは、RJ-45 コネクターの下図の位置がしっかりと固定されていることを確認してください。



このタイプの STP ケーブルは、CE250A の RJ-45 リンクポートとしっかりとコンタクトするよう、接続を確認してください。



## デバイスの接続

次のページの接続図を参考にしながら、以下の手順で作業を行ってください。(図内における番号は下記手順の番号に対応しています。)

1. ローカルコンソールとして使用するキーボード、モニター、マウスと、CE250AL のリアパネル側の対応するポートをそれぞれ接続します。
2. 同梱の KVM ケーブルの先端にある SPHD コネクタ(黄色、オス)を、CE250AL のフロントパネルにある SPHD コネクタ(黄色、メス)に接続します。

---

**注意:** この黄色い SPHD コネクタは、ATEN KVM ケーブル専用設計されたものです。モニターの接続に使用する D-Sub 15 ピンコネクタなどを誤って接続しないよう、ご注意ください。

---

3. 2のケーブルで SPHD コネクタの反対側にあるモニター、マウス、キーボード用の各コネクタを、接続するコンピューター(KVM スイッチをお使いの場合は、KVM スイッチのコンソールセクション)の対応するポートにそれぞれ接続します。  
ポートにはわかりやすくするため、接続するデバイスのアイコンと PC99 準拠のカラーリングが施されています。
4. カテゴリ 5 以上の STP LAN ケーブルの端を CE250AL の REMOTE I/O ポートに接続し、もう一方の端を CE250AR の REMOTE I/O ポートに接続します。

---

**注意:** 1. STP ケーブルはこの製品に同梱されておりませんので、別途ご購入いただく必要がございます。UTP ケーブルでも本製品をお使いいただけますが、CE250A の機能を十分にご利用いただくためにも、本製品には STP ケーブルをお使いいただくよう強く推奨いたします。

2. CE250A が延長可能な距離は最大 150m です。

---

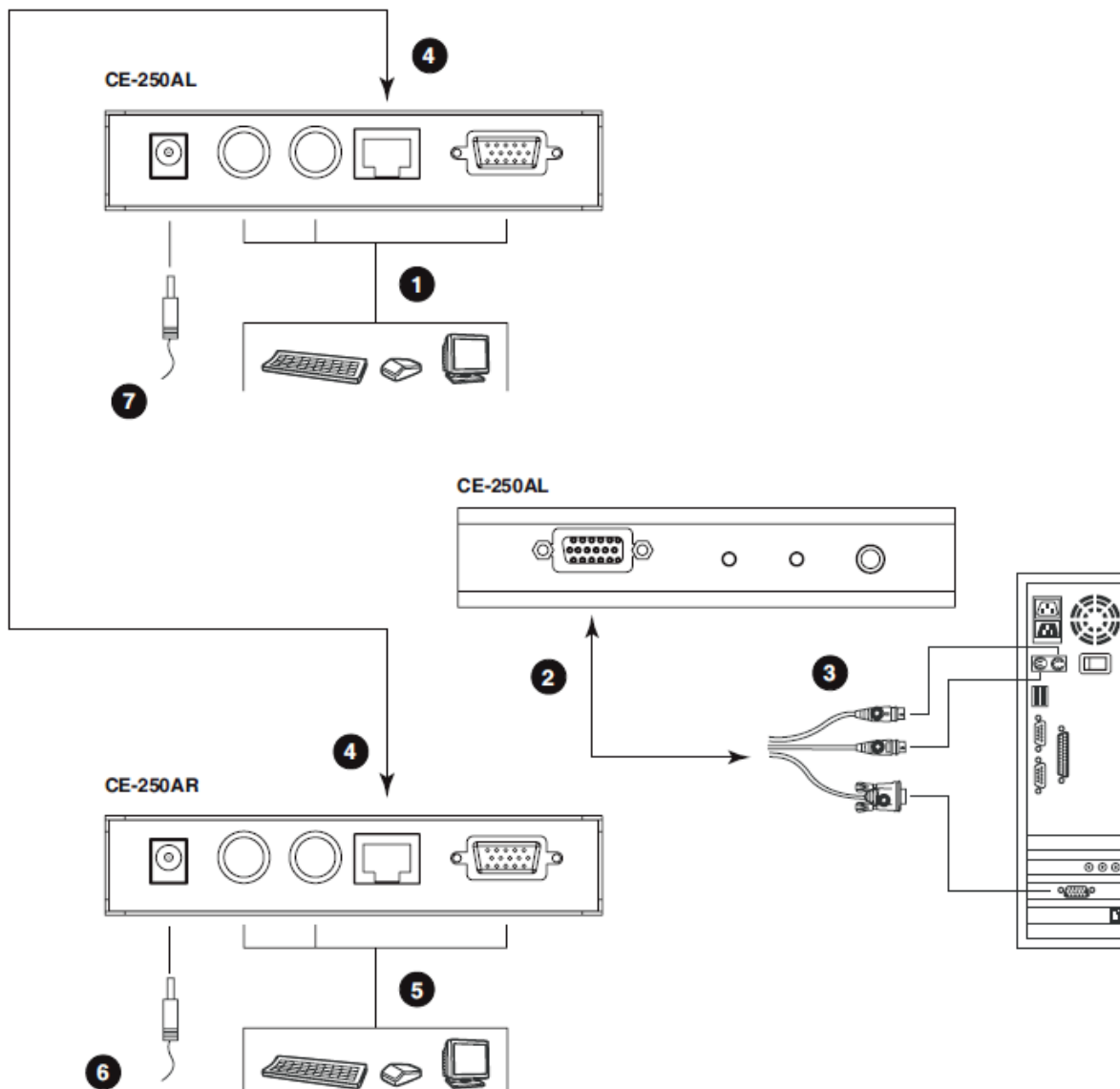
5. リモートコンソールとして使用するキーボード、モニター、マウスの各ポートと CE250AR のコンソール側の対応するポートをそれぞれ接続してください。
6. 製品に同梱される電源アダプターを電源コンセントに挿し、アダプターの電源プラグを CE250AR の電源ジャックに接続してください。
7. オプションとして CE250AL で電源アダプターをお使いになる場合は、別途入手した電源アダプターを電源コンセントに挿し、アダプターの電源プラグを CE250AL の電源ジャックに接続してください。

---

**注意:** CE250AL の電源アダプターはオプションでお使いいただけます。電源ジャックに関する詳細は p.22 をご参照ください。

---

接続図



# 第3章 操作方法

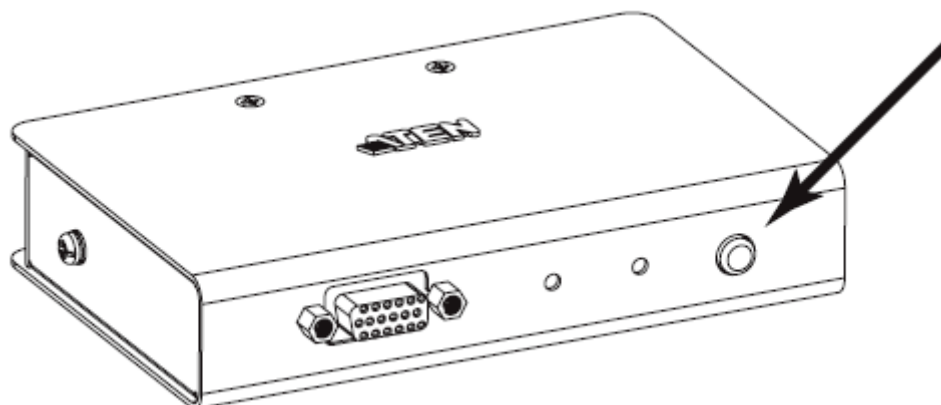
## 操作モード

CE250A KVM エクステンダーには、ローカルモード、リモートモードの2種類の操作モードがあります。内容は下記のとおりです。

モード	説明
LOCAL	ローカルコンソールのみがコンピューターまたは KVM スイッチにアクセスできます。このモードの時、リモートコンソールのモニターにはブランク(無表示状態)になり、キーボード/マウスの入力は無効になります。
LOCAL/REMOTE (起動時のモード)	ローカル・リモートの両コンソールでモニターが表示され、両方のキーボード/マウス入力を受け付ける待機状態になっていますが、両方から同時に操作することはできません。どちらかが入力を始めるとそのコンソールに操作権限が移り、他方のキーボード/マウス入力は無効になります。 使用中のコンソールの入力が終了してしばらくすると(約 5 秒)、操作権限を開放し、待機状態に戻ります。

## モード選択

操作モード選択スイッチ(下図の矢印が示しているボタン)は、CE250AL のフロントパネルに位置しており、CE250A の操作モードを切り替えることができます。スイッチを押すと、LOCAL モード、または LOCAL/REMOTE モードで交互に切り替わります。製品の起動時(電源投入時)は、LOCAL/REMOTE モードになっています。



## LED ランプの表示について

CE250A はローカル・リモートユニットとも、現在の操作状態を示す LED ランプがフロントパネルについています。詳細は下記の表のとおりです。

### CE250AL(ローカルユニット)

LED	操作モード	
	LOCAL	Auto
LOCAL	ローカルコンソールがアクティブである場合に点灯します(この時リモート LED は OFF になっています)。	ローカルコンソールがアクティブである場合に点灯します(このとき、リモート LED は OFF になっています)。  リモートコンソールがアクティブの場合は OFF になります(リモート LED は点灯します)。  どちらのコンソールもアクティブになっていない場合、リモート LED と交互に点滅します。
REMOTE	LED は OFF になっています。	リモートコンソールがアクティブである場合は点灯します(このとき、ローカル LED は OFF になっています)。  ローカルコンソールがアクティブである場合は OFF になります(ローカル LED は点灯します)。  どちらのコンソールもアクティブになっていない場合は、交互に点滅します。

### CE250AR(リモートユニット)

LED	説明
POWER	LED が点灯している場合は、ローカルユニットとの接続が正常に行われていることを示します。 ローカルユニットとの接続に異常がある場合には、この LED が点滅します。
ON LINE	リモートコンソールに操作権限がある場合、この LED が点灯します。 ローカルコンソールに操作権限がある場合、またはローカルユニットの接続に異常がある場合は、消えています。

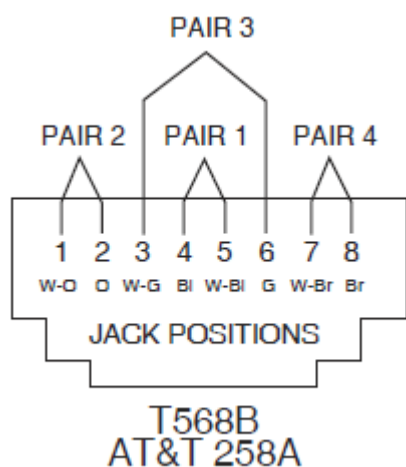
## 製品仕様

機能		CE250AL	CE250AR
コンピューター接続数		1	-
コンソール接続数		1	1
コンピューター側対応 インターフェース	キーボード	PS/2	-
	マウス		
コンソール側対応 インターフェース	キーボード	PS/2	
	マウス		
コンピューター側コネクタ	キーボード	SPHD×1	-
	マウス		
	モニター		
コンソール側コネクタ	キーボード	ミニ DIN6 ピンメス×1	
	マウス	ミニ DIN6 ピンメス×1	
	モニター	D-sub15 ピンメス×1	
スイッチ	モード選択	プッシュボタン×1	-
電源ジャック		DC 電源ジャック×1	
ユニット間接続		RJ-45×1	
LED	ローカル	グリーン×1	-
	リモート	グリーン×1	-
	電源	-	グリーン×1
	オンライン	-	グリーン×1
キーボード・マウスエミュレーション		PS/2	
電源仕様 (R のみアダプタ)		バスパワー (別売アダプター) 型番: 0AD8-0005-10EG 入力: AC100V~240V 50~60Hz 出力: DC5V 1A	型番: 0AD8-0005-10EG 入力: AC100V~240V 50~60Hz 出力: DC5V 1A
消費電力		1.25W	
延長距離		最大 150m	
VGA 解像度		最大 1,280×1,024@60Hz ローカルユニットのみ DDC2B 準拠	

(表は次ページに続きます)

機能		CE250AL	CE250AR
動作環境	動作温度	0～50℃	
	保管温度	-20℃～60℃	
	湿度	0～80%RH 結露なきこと	
ケース材料		メタル	
重量		330g	320g
サイズ(W×D×H)		125×81.5×25mm	
同梱品		2L-5202P(1.8m)ケーブル×1 電源アダプター×1 ラックマウントキット×2 クイックスタートガイド×1	

## TP 結線図およびピンアサイン



ピン	アサイン
1	/V OUT B
2	V OUT B
3	/V OUT G
4	/V OUT R
5	V OUT R
6	V OUT G
7	/DO
8	DO

## トラブルシューティング

現象	対処法
ディスプレイに何も表示されない。	すべてのケーブルが正しくソケットに接続していることを確認してください。
表示画質が悪い。	リフレッシュレートを下げても表示画質を上げてください。
画面にスジやシミ状のものが表示される。	リモートユニットからカテゴリ 5 ケーブルを一旦抜いて、接続しなおしてください。
ローカルユニットが動作しない。	ローカルコンピューター、または KVM スイッチに接続されているコンピューターからの電源が十分に供給されていない可能性がありますので、CE250AL 用の電源アダプターをご購入ください。このとき、新たにご購入されるアダプターは CE250AR に同梱されている電源アダプターと同じ仕様のものであることを確認してください。
リモートユニットが動作しない。	同梱されている電源アダプターがリモートユニットの電源ジャックに正しく接続されていることを確認してください。